



# 学校だより 12月

令和元年11月29日 横浜市立芹が谷南小学校

## まちと関わる豊かな体験

学校長 高木 篤子

「もっと知りたい。調べてみよう。」「なるほど、すごいな。」「分かったことを伝えたい。」  
「自分たちにできることを考えよう。」このような子どもたちの思いや願いを基に、地域や社会、自然等とふれ合う豊かな体験を通して、特色ある活動を進めていきたいと考えています。温かな人との関わりから、探究的な学習を行っている3年生の総合的な学習の時間の取組をご紹介します。

### 3年1組『パワーGO大根 みんなで協力プロジェクト』

地域に畑をもち、本校の給食に使う野菜を生産されている方のご協力を得て、子どもたちは大根の栽培活動を体験しています。10月初旬に畑に行き、土づくりと大根の種まきをしました。畑の中に足を踏み入れた瞬間、「足が土の中に沈んでいく。」「ふわふわしているよ。」と土の柔らかさを感じました。小さな種に大事そうに土にかぶせながら、給食で食べる大根の成長へ思いを馳せました。台風が来たときには畑の心配をし、生産される方の思いについて考えるきっかけとなりました。野菜作りについて、お話を聞いてみたい、教えていただきたい。そして、給食を食べている全校のみんなに伝えたいという活動につながっています。

### 3年2組『おたすけフラワー大作戦』

地域の公園をきれいにしたいという子どもたちの声で、10月・11月に公園愛護会をはじめ地域の方々に教えていただきながら、渡戸東公園と下永谷第五公園の清掃活動を行いました。一緒にたくさんの落ち葉を集め、自分たちの使う公園を大事にしたいという思いをもって活動しています。

また、校門横の花壇に、PTA や地域コーディネーターや職員と共に苗を植えてくれていたフラワーロードの方の仕事の様子を見て、活動に関心を持ちました。子どもたちがお手紙を書いて質問すると丁寧な返事が届き、畑や清掃、情報誌の配布、工房での制作等をされていることを知りました。

この活動は、さらに福祉を視点とした「赤い羽根共同募金」の呼びかけにつながっていきます。

人と出会い、身近な自然や環境に関わる体験を通して、子どもたちは自分のまちへの理解を深め、愛着を増すことでしょう。多くの方々に子どもたちの活動を支えていただき、感謝申し上げます。

